

# 日本原水協活動交流ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031  
FAX:03 - 5842 - 6033 E メール：antiatom55@hotmail.com

2019年  
3月16日発行

## 粘り強い取り組みで議会意見書採択すすむ 北海道・富良野地区で世界大会参加者先頭に

非核・平和の日本へ、自治体レベルの取り組みが重要です。北海道・富良野地区の意見書採択の取り組みを紹介します(原水爆禁止富良野地区実行委員会ニュース 3月16日付より。見出しは編集部)。

『核抑止力』が必要と唱える人や国(安倍さん)がいますが、『核抑止力』には、核兵器を持つ、場合によっては核兵器を使うことも含む危険な考えです。』『北朝錨が云々』という人や国(安倍さん)がいますが、南北会談や米朝会談など大きく世界は変化しています。

こうした中、世界で唯一の破爆国・日本政府が世界に先駆けて核兵器廃絶への積極的で誠実な外交が求められているのでは」と懇談の中で訴え、昨年9月、富良野市議会定例会以来、「核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見客」を求める請願行動を行ってきました。また、18人いる市議会議員の自宅を世界大会参加代表の坂井と若杉2人で訪問して理解と賛同を訴えてきました。

### 占冠村議会では議長の自宅を訪問して要請

昨年12月には、占冠村議会議員、相川繁治さんの自宅を訪問してその場で「議会で対応します」と承諾をいただき12月村議会で原文のまま全会一致で可決されました。

こうしたことが沿線自治体議会事務局協議会で出され「占冠村議会で可決、富良野市では議員検討中」との話が、今年2月20日、3月議会に向けての上富良野町議会事務局長への要請行動の中であり、改めて議会事務局レベルでも注目されていることが判明しました。

3月14日(木)中富良野町議会最終日。この日の議会運営委員会では、「今回は議員あずかり」として本会議には上程されませんでした。

また、15日(金)最終日の南富良野町では「議長あずかり」となって次回へ見送られました。

上富良野町議会では、提出した時点ですでに3月議会に向けての議会運営委員会は終了していて、6月議会に提出する承諾を得ました。

### 富良野市での運動の蓄積を力に

こうした状況の中で、15日(金)に開かれた第1回富良野市議会定例会で今利一議員他5名からの議員提案が本会議に提出され、質疑・意見が出された後、採決が行われ、全会一致で可決されてただちに内閣総理大臣、外務大臣宛に送付されました。

これまで消極的、否定的だった議会も再三再四の要請行動で大きく動きました。その原動力は、これまで富良野市は平和の問題、核兵器の問題に対して前向きな行動を取ってきました。1986年に「非核平和都市宣言」を、2010年には「世界平和・非核平和都市宣言」をし、内外に「非核と世界の恒久平和」をアピールしてきました。こうした富良野市民の努力と粘り強い継続した平和運動が実現させたと思います。

そしてなによりも、日本被団協、日本原水協、北海道原水協の存在が改めて大きかったと思います。